

# 横断型連携特別演習 最終成果発表会

日時：令和3年7月29日(木) 18:10～  
場所：デザイン研究科博士後期課程  
横断型連携特別演習最終成果発表会 Teams

1. 授業概要説明 (科目責任者: 柿山)
2. 成果発表 (発表時間20分、ディスカッション25分)

18:20  
～  
19:05

## スローラーナー(初等教育段階の学習内容が未定着)の 高校生のためのエデュテイメント教材の開発方法

デザイン研究科 人間情報デザイン分野 川村 徹

本研究は、初等教育段階で学習内容を修得しきれていない高校生の「スローラーナー」に対する「学びなおし」の効果的な学習方法を明らかにし、学習者と親和性のあるゲーミフィケーションによって「主体的対話的な深い学び」に至るエデュテイメント教材の開発方法を明らかにすることを目的とする。その前提として基礎学力の修得に係る先行研究に加えて、学び直しの前提となる死蔵されている知識をリソースとして活用する方策を考察する。

担当教員

森 朋子 准教授  
横溝 賢 准教授

19:05  
～  
19:50

## 被災者の自助・共助意識の醸成と行動をつなぐ公助のデザイン

デザイン研究科 人間空間デザイン分野 櫻井 英文

防災に対する自助・共助意識の向上が求められていると共に、発災時には行動発揮することが要求される。本研究では、被災者への行政支援(公助)を対象に、自助・共助意識の醸成と行動をつなぐ公助のデザインに求められる条件を明らかにする。平成30年北海道胆振東部地震で被災した札幌市清田区里塚の住民を対象に、住宅再建や地域再生に導く行政プロセスと自助・共助に関わる被災者の心理変化の相関に基づく研究計画を立案した。

担当教員

小林 重人 准教授  
柿山 浩一郎 教授

- 3 総評 (担当教員)

